

## 大和村に恩返しできるように・・・

令和7年二十歳のつどいを1月4日に開催しました。12名（男性5名、女性7名）が出席し、保護者や多くの来賓の方々に見守られながら、大人としての決意を新たにしました。式典では、参加者が一人ずつ自己紹介を行った後、代表者として政村 李玖さん（大和校区）が、「これから益々発展していく大和村に、私たちも恩返しできるように精進したいと思います。また、多くの方々への感謝の気持ちを忘れず前を向いて歩いて行く事を誓います。」と決意を述べました。

参加者の今後の活躍を期待します。



政村さん



集合写真

## 島の正月料理を味わう！

冬休みの学習教室で「三献」づくりに挑戦しました。教育委員会から「三献」についての説明をしていただき、参加者全員で調理を開始。みんなで協力して完成した「三献」。（さしみは提供できなかったのですが、写真になってしまいました）自分たちで作った料理の味は最高だったようです。（大和っ子スクール同時開催）



## 是非！ 生の演奏を聴きに・・・

「第3回ほこらしゃ音楽祭」の開催に先立ちまして、大和村でミニコンサートを実施いたします。プロの演奏を聞くことができる貴重な機会です。多くの方の参加をお待ちしております。

|     |             |
|-----|-------------|
| 期 日 | 令和7年2月8日（土） |
| 時 間 | 13：30～14：10 |
| 場 所 | 大和村体育館      |



現在、「第3回ほこらしゃ奄美音楽祭」の前売券販売も行っております。購入を希望される場合は、大和村教育委員会事務局（57-2154）へご連絡ください。

＝第3回ほこらしゃ音楽祭＝

日時 2月9日（日）18：00～20：30

場所 奄美川商ホール

【一般前売】4,000円 【小中高生前売】2,000円

## 昭二兄よの四方山話（よもやまばなし）



### 山の神

正月16日は、山の神様を祭る日です。この日は、山の神様が集まってくる日なので山に行かず山仕事もしない日となっているそうです。山仕事をしている人は、神月の9月16日と正月16日は、大切な祭り日であり、祭りをする事で仕事の安全やハブ被害も山の神が守ってくれるということが信じられているそうです。また狩猟する人たちも山への感謝と殺したイノシシの慰霊もかねて山の神祭りをするとされています。林業が盛んな昭和30年代大和村には、数社の林業グループがあり大和村浦内地区経済の中心でもありました。

正月16日は、林業関係者それぞれグループごとに山の神へ参拝し、親方の家で正月をすることが山の神祭りの一日でした。山に精霊が住んでいるということは、先人からの教えであり、特に巨木を倒すときはお神酒を掛け、唱え口で山神への感謝を表すことをしていたようです。山には、精霊が住んでいるということは現代の人々には信じがたい話ですが、村内のある集落に伝わっている話です。

戦前奥山で建築材を採取するときは、仕事の効率性を考え簡単な山小屋を立てて2、3日泊って仕事をしていたようです。ある晩山小屋に4名で寝ていた時、一人の青年の体に山の神（女神）が覆いかぶさるということがあり、この集落では山小屋に泊まることを控えたという話が伝わっています。

様々な恩恵を受けてきた山に感謝と畏敬の念を持って山神様を信仰することは大切なことだと思います。

（参考資料・大奄美史）



大和村山中にある山の神

写真提供：奄美野生生物保護センター 鈴木様

毎月19日は『育児の日』

第3土曜日は『青少年育成の日』

第3日曜日は『家庭の日』

